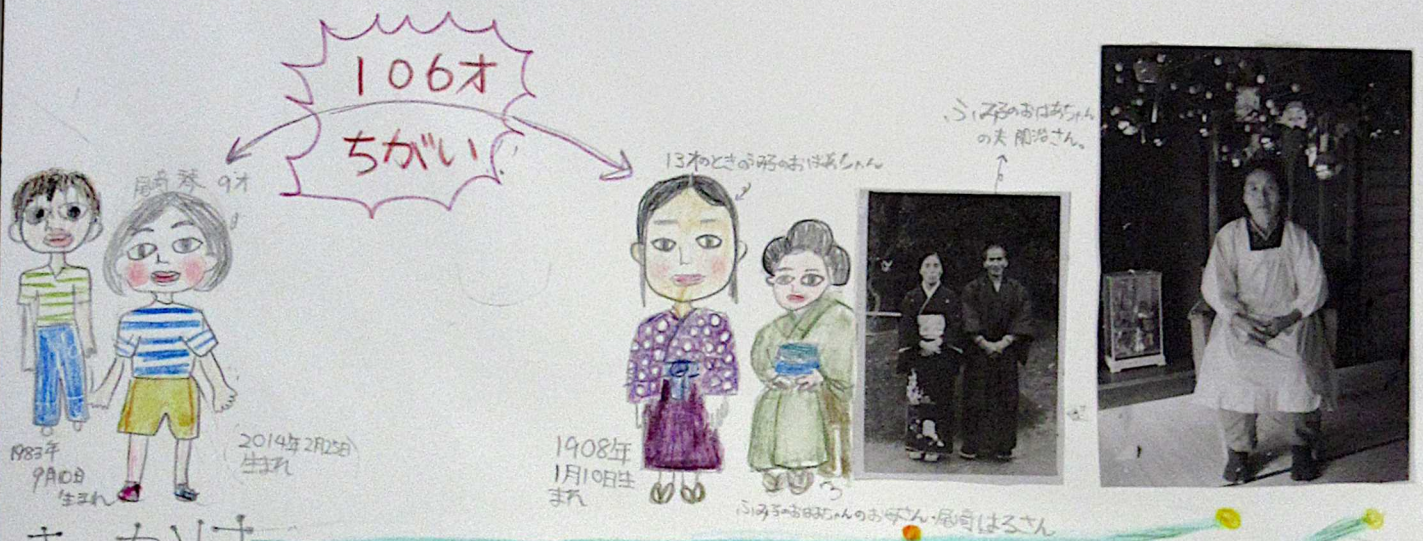


ひいひいおばあちゃん の時代へタイムワープ!

4年尾崎琴



きっかけ

ある日、お父さんがふみ子のおばあちゃん
は昔、ふるしきをせおって、年に回だけ
姫路へ買い物に行っていたらしい
いという話をしていました。
自分のくらしとは全然ちがうと
おどろき、その時代のくらしを調べ
てみることにしました。

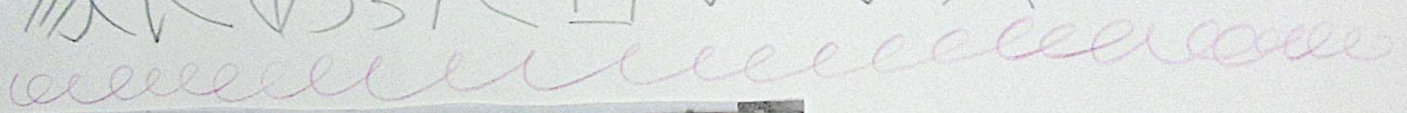
さんこづなした人と物

★村のおじいさん(77才)からのお話

★おじいちゃん(67才)からのお話

★おばあちゃん(67才)からのお話

★家にあつた古い写真



- ・えんのしたでこつとりをからしていた。
- ・まとはサ、心ではなくしやうした。
- ・けむりぬきのある屋根だった。
- ・真ん中は、いとおじいちゃん
海軍にいくところ



- ・いせ着物すがたでした。
- ・仕事をするとはも
んへ略はしてした。



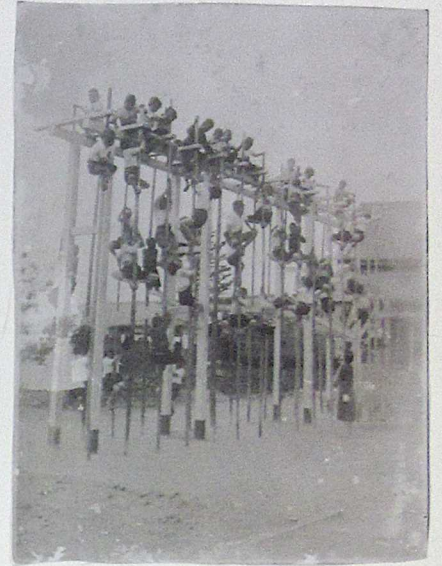
- ・昔のけこん式は
家であげてた。
- ・おじいちゃん
は、息をこらして
したらしい。

②



● 着物を着て、ぞうりをは
いていた。

● 小学校にははたの
服を着ている人もおれ
ば私服の人もいた。



● 服はたんもの(ぬの)を買って
自分たちで作っていた。

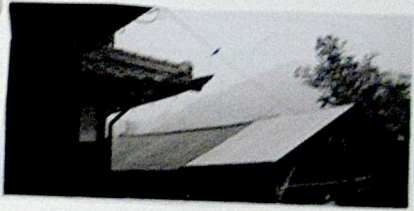
● 全部お下がりだった。

● きつくなつた着物は赤ちゃん
のおむつとしてさいり用さ
れていた。(おむつにはちよ
うどしいやあ
らかだった。)

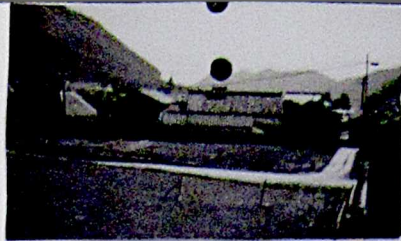


食

(はかり)

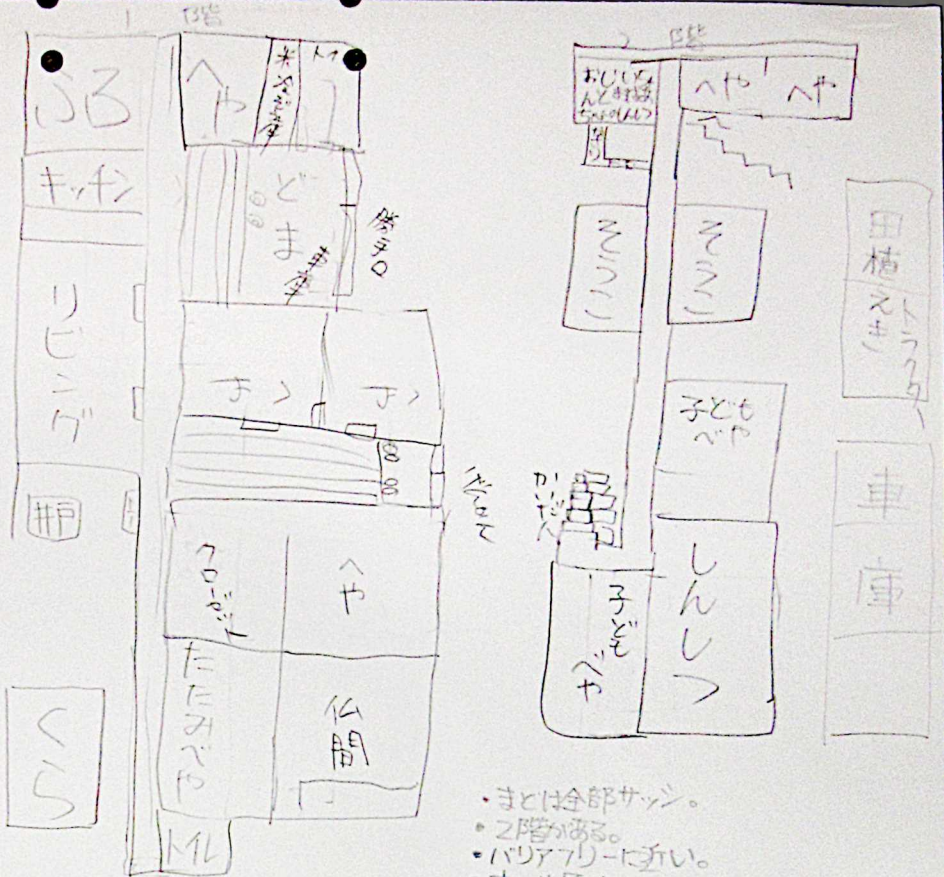
- 田口にはおしょうゆ屋さん、食料品屋さん(たさいが中心で売っていた。つうしょうとよちゃん)だがし屋さんの3けんあった。
- お店の人が姫路まで行って買って来るので売る時には今のように新世ではない。時間がとてもかかるから。
- 畑や田んぼで作ったり、ヤギやニワトリをかって自給自足の生活。みぞではジミヤドジョウを池でまたにし、フナを取って食べていた。
- バナナは高級品だった。病気の時しか食べられなかった。

住



- けむりぬきの家があった。
 - 100円というとすぐ大きなお金だった。
今ではカード一枚でお金がはらえる。
 - 家でカイコをかっている家もあった。
 - 電話はなかった。車もトラクターもなかった。電化製品もなかった。
 - 夏にはあるととき、かゆをはて
冬は湯たんぽ、まめたんて温めていた。
 - 井戸水で風呂をわかした。
井戸水をくむのは子ともの仕事！飲
み水も井戸からくんでし
た。その後、ポンプが到来。
-
-
- ちらでむしろ、なわをあんていた。
 - ご飯、おかずもかまどで作っていた。 ㊦
 - 牛で田んぼをすき、女の人が手で植
えていた。だからひいおはあちゃんたちはこしが曲が
っている。

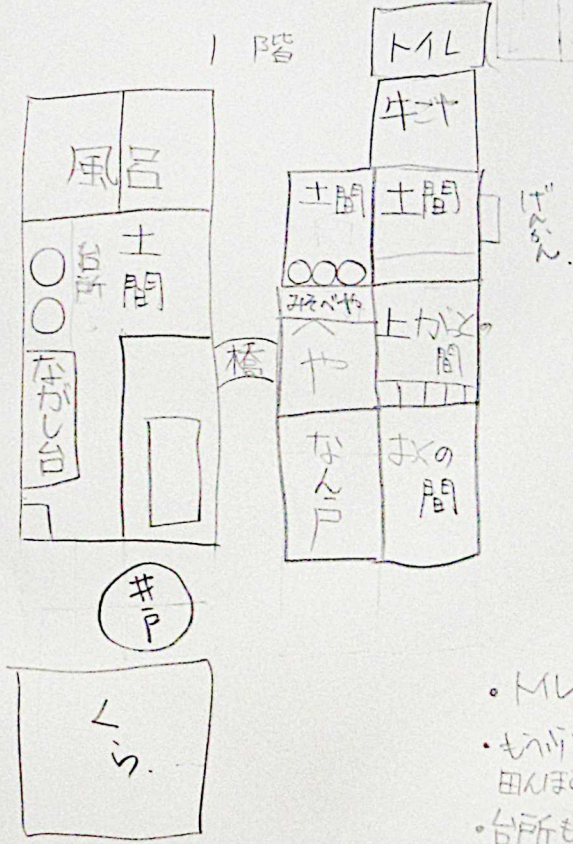
今の家



- じゃ口をひねると水が出てくる
- ワンタンでお風呂がぬぐ。
- エヤコン、テレビ、海、せんたくまなど
- 電化製品がある。
- いすの生活に慣れている。
- 洋式で木流のトイレになった。
- 車が一台もつようになった。
- 農業もまかり化かすこと。

- まとは全部サツジ。
- 2階がある。
- バリアフリーに近い。
- オール電化

井田の家



- トイレが外にある。
- もみりいちは牛こかもあった。田んぼの垣をしていた。
- 台所も土間だった。
- 井戸水と風呂水、飲み水に使っていた。
- みそべかもあった。

まどぬ・かんそう

まどぬ

物や食べ物全部自分たちで作っていることが多かった。自給自足でいるものは、全て作って生活していた。今のよに何でも使い捨てるようなことはしなかった。物を大切に長く使っていた。戦争もあって特に物もなかった。

感想

自給自足の生活で、ないところから作ってくらしていたんだなぁと感心しました。子どもたちも労働力となり、みんなで力をあわせて生活していたんだなぁと思いました。昔の子どもたちはまたえられて力が強かったんだらうなと思いました。今はとても便利な世の中になりました。

その分、害も出ているのかもしれませんが、ふみ子のおばあちゃんにあつたことなし、時イセもちがうけど、これからもずっとこの家で昔のことも大切にしながら生きていきたいです。ふみ子のおばあちゃんに会えたみたいでうれしい。

第11回 福島市柳田園男ふるさと賞出品票

学校名	高岡小学校	学年	4年
ふみ子の氏名	尾崎 琴	番号	
題名	しいいおばあちゃん時代へタイムワープ!		